



学塾通信 12月号（第144回）

～学塾は一人ひとりが目標に向けて真摯に取り組む教室である～

11月29日(金)は授業調整日です。通常授業はありません。

11月も後半に差し掛かり、受験日が近づいてきました。この頃になると思い出すことがたくさんあります。中でも講師の五十嵐先生が受験生だった頃は、よく覚えています。今と変わらず真っすぐで一生懸命でした。彼女たちは足しげく自習に来て、集中力が無くなると土佐稲荷まで散歩やダッシュをし、雨の日は通路で体を動かしていました。別の学校の生徒ともお互いに励ましあいながら、最後までやり切りました。毎週提出していた受験用スケジュール帳(毎日取り組んだことを書き、自習の予定を立てるもの)もこれまでの生徒の中で彼女たちが一番きっちりやり切りました。進学先の大学でも熱心に研究に打ち込んでいます。先日、大学で初めての研究発表があったようです。興味がある学問と出会い頑張っている様子を聞くと私も嬉しくなります。

当塾の受験生たちも10月半ばから意識が変わってきたように思います。志望校が決まり、具体的に必要となる点数がわかってくると、それに向かって頑張ることができるようになるのでしょうか。そう考えると来年度受験生になる小学5年生や中学2年生のみなさんも、学校選びの動き出しを早くすることが受験勉強を始めるきっかけになると思います。いろいろな学校を見て下さい。

高校受験生は12月21日(土)の直前特訓から入試問題を解き始めます。直前特訓においては、入試当日までに志望校の傾向に慣れ、合格点を取るために必要なことを伝えていきます。入試本番はこのように臨もうというプランを立てれば、講座としては完成です。

受験生になるみなさんに今年の1月27日伝えたことをもう一度お伝えします。

合格率を上げる方法
入学試験の制度を知り
出題される問題、傾向を把握し
入試本番で「解くことができる問題」を確実に解く。

「解くことができる問題」を確実に解く。とはどういうことなのか補足説明します。

入試問題で正答率が80%を超える問題であれば当然正解する必要があると思いますが、正答率が1%を切るような問題であれば多くの生徒は無理して解く必要はありません。合否に影響は無いため、正答率が高い問題をミスなく取り切ろうということです。

受験までの残りの期間は一番学力がつく時期です。受験生のみなさん、目標に向かって全力で臨んでください。

○入試情報等について

各学校から届いた案内や入試に関する情報は、学塾の X(Twitter)にて配信しています。

○教室への連絡について

教室への連絡は、一斉配信のメールアドレス宛に用件を送っていただいても教室には届きません。

お手数ですが info@gakujyuku.com 宛にお願いします。

メール確認後は、当日ないし翌日までには返信しています。教室からの返信が無い場合は、一斉配信宛に届いている可能性があります。一度ご確認をお願いします。

○冬期講習会・入試直前特訓について

この冬も冬期講習会・入試直前特訓を実施します。申し込み〆切は 11 月 30 日(土)です。

高校受験生は必須参加です。今年度受験生のみなさんにとって最後の特別講座です。

入試に直結する内容に取り組みますので、この講座で完成させるつもりで臨んでください。

高 2 生、中 2 生、小 5 生(受験)のみなさん、いよいよ受験生と呼ばれる日が近づいてきました。受験に臨むにあたってポイントはたくさんありますので、これからひとつずつ伝えていきます。

受験学年を迎える前の冬休みにやっておきたいことは、これまでに学習してきたことの復習です。

忘れていた知識を思い出し、苦手な単元を克服して受験学年を迎えましょう。

☆小学生☆

○ハロウィンイベントについて

ハロウィンイベントに多くの参加者が来てくれて、私たちも嬉しかったです。自習 60 時間分のクジが 6 日間で無くなるという大盛況ぶりでした。(1 時間自習をするとお菓子が当たるクジを 1 枚引くことができるというシステムです。)

5 日連続頑張って自習に来てくれた人もいました。

今回のイベントで、子どもたちの取り組み方が大きく変わる姿を見て、私たちにもまだまだできることがあることに気づかされました。普段の授業や関わり方も工夫していきたいと思えます。

なお、次回のイベントはクリスマスに実施する予定です。



○中学生のお約束について

新中学 1 年生のみなさん

公立中学に進学するみなさんに、中学生のお約束を同封しています。

小学部から中学部に進学するにあたり、確認して欲しい教室からのお願いです。中学校生活に慣れ、充実した 3 年間になるように一緒に頑張りましょう。これまでの指導経験を基にお約束を作っています。

保護者のみなさまへ

中学校の 3 年間は長いようであつという間に過ぎていきます。いろいろなことに興味を持ったり、親の言うことを聞かなくなってきたりという時期もあるかと思いますが、それは決して特別なことではありません。成長過程のひとつです。

また、中学入学を期にスマホを持たせるというご家庭については、お子様にお渡する前にスマホ使用のルールを各ご家庭で確認することをお勧めします。制限をかけるべきところは制限をかけ、勉強をするときや寝るときにはスマホを近くに置かない、など保護者のみなさまから念を押していただきたいです。

子どもたちが興味を持つようにつくられているコンテンツを見始めると、それに費やす時間が多くなってしまいます。

① スマホを机の上に置いたまま学習をさせない。

➡近くにありとどうしても気になり、見たくなくなってしまい集中の妨げになります。

② スマホを子どもの寝室に置かず、就寝時には別室にある状態にする。

➡布団に入りながらスマホを触る癖がつくと、寝る時間が遅くなるだけでなく、睡眠の質が下がります。

スマホが普及する前と現在では、確実に子どもたちの学力に大きな差がでているように感じます。いちばん気になっているのは「すぐに答えを求め、じっくり考えることができない」、また「語彙力が乏しい」子どもが増えていることです。時間とルールを決めて使用し、スマホとの上手な付き合い方ができるようにしていきたいものです。そのためにも、お子様に手渡す前に必ず家庭のルールを決めることをお勧めします。



☆中学受験生☆

○6 年生

いよいよ統一日までのカウントダウンが始まります。近年の中学受験を見ていると、初日から 3 日目までに試験を終える生徒がほとんどです。自主学習においては「当日まで何をすればよいのだろう？」と気になる時期だと思えます。迷ったときは、これまで解いてきた問題集をもう一度解き直しましょう。本番では、解くべき問題を落とさないことが最も重要になります。解くべき問題というのは、これまでやってきた問

題集レベルの問題になります。解くべき問題とそうでない問題の見極めについては、9月から入試問題をこなしてきているので、上手になっています。これまでやってきたことを総チェックする意味で、問題集を解き直してみましょう。

○4・5 年生

中学受験コースは中学入試の時期が1月のため、学塾の他コースよりも早い2月が新年度となります。5年生のみなさんも入試まであと1年2ヶ月です。6年生の9月からはそれぞれの志望校対策ができる進度で考えています。そのため、これまで学んできたことを反復練習するようにしてください。新5年生の3教科受験者は算数・算数・国語・理科の週4コマとなります。日時の調整をよろしくお願い致します。

○模擬テストについて

第6回 五ツ木・駿々堂模試 11月24日(日)

☆中学1・2年生☆

【1年生】

中学校入学から半年が経ち部活や勉強のサイクルが定着してきたように思います。多くの人は普段は塾の宿題と学校の宿題、テスト前はテスト勉強を頑張るという流れになっていると思います。高い意識を持ち、文理学科や同じようなレベルの学校を目指したいという人は、それ以外の時間でも自主学習の時間を取るようにしてください。まずは新中間レベルをスラスラと解くことができるようになることを目指してください。

【2年生】

○次年度からの受講科目について

高校受験生は受験指導の関係上、英数は必須受講となります。3月の新年度開講から授業をスタートできるよう、習いごと等の調整をお願いします。現在、数学もしくは英語のみの単科受講の方は、3月より英数での受講をお願い致します。

○塾長講座について

4年前から高校受験生に実施している塾長講座について、新中学3年生の方にもご案内をする時期になりました。月に1回集まり、受験勉強において大切なことを伝え、自主学習のペースメーカーとなるような課題テストを実施します。(理科・社会・英単語・漢字)そして、実力テスト・模擬テストの過去問などに取り組みます。2月に新年度保護者会を実施しますので、その中でも説明します。

○同意書について

次年度からの指導について、同意書を同封しています。内容をご確認いただき署名の上、用紙の提出をお願いします。

☆高校受験生☆

○入試直前特訓について

入試直前特訓は 12 月 21 日(土)が初日です。12 時 30 分開始です。

持ち物は筆記用具と私立専願の人は受験校の過去問です。

時間に遅れることの無いよう、よろしくお願いします。

冬以降の特別講座は入試直前特訓・推薦入試対策・英作文対策講座・C 問題対策と 4 つの講座を準備しています。このなかで優先順位が一番高いのは入試直前特訓です。英作文対策講座・C 問題対策は強化したい単元をピンポイントに指導するので、C 問題出題校を受験する人には受講していただくことをお勧めします。学習状況を見てこちらからも提案します。

不明な点がございましたら、教室までご連絡下さい。

○保護者様からの質問

「入試直前特訓のコース変更はできますか？」という質問を毎年受けます。例えば、公立の一般選抜を考えていたが、学校の懇談の後に私立専願になったため、直前特訓を公立の一般選抜ではなく私立にコース変更できるかどうかということです。

➡コース変更できます。進路の状況に合わせて対応しますのでご安心ください。

○授業の追加・変更について

受験まで半年を切り、受講科目の追加・変更の連絡が増えてきました。受講科目変更については、随時受け付けています。相談等も含めて、希望があれば教室までご連絡をお願いします。

○進路面談について

11 月・12 月の学校での面談を経て、改めて塾でのご相談を希望される場合は、随時実施します。(案内文等は配布しません。)希望される方は教室までご連絡をお願いします。

○模擬テストについて

第 7 回 五ツ木模試 12 月 8 日(日) 必須回最終です。

私学受験校で実際のイメージを持って臨んでください。
空調・お手洗い・会場までの時間・ルートもチェック

○塾長講座の予定

11月30日(土) 14:55~19:00 【最終回】

☆高校生☆

高校生のみなさんの課題は「中学に比べてテスト範囲が広がったが、どう対応するのか？」ということです。少しですがアドバイスします。

テスト範囲が広すぎると、基本的に1、2日勉強しただけでは間に合わないので、テスト本番の3週間前から計画を立てる。そして予備日を2日作っておく。予定通りに進まなかったら予備日を使い、予定通りに進んだらその2日を有効に使う。

理系の教科については、問題を見て解く時に、頭で考えてから答えを見て確認をするという勉強法はしない方がいい。必ず書く。書いてみたら意外と書けないことが多い。(特に数学) テスト勉強には問題集を使うことが多いと思うが、自分ができる問題は確認程度で早く終わらせて、できない問題をたくさん解く。できる問題を解いても時間の無駄なので、わからない問題をできるようにするという意識が大切。とにかく効率よく問題を解くことが大事。

英語は英単語を毎日20個は覚えた方がいい。英単語を知らないと読めないし、問題も解けない。また、英語の長文はなんでもよいので毎日読む。1週間も読んでいないと感覚が鈍る。

その他 テスト前に限らず、睡眠時間を6~7時間は取る。授業をしっかりと聞いていれば、問題を解くのに困らなかったはずが、授業で寝てしまい聞いてなかったとなると無駄に勉強する時間が必要になる。朝ごはんは必ず食べる。朝ごはんを食べていない生徒の成績がよかったというケースは今まで聞いたことがない。食べないと元気もでないし、授業も集中できなくなるので、食べていない人は気を付けた方がいい。普段の生活で効率的な勉強ができるように取り組んでいきましょう。

今回、manaboという問題解説アプリのアカウントを配布しています。11月中は使用可能です。どんどん使ってみてください。それが有効と判断すれば次年度以降、導入します。

塾生募集状況

お友達紹介キャンペーン

紹介者 クオカードPAY 3,000 円

紹介された方 入会金無料

【高1～3】	募集終了
【高校受験 中3】	募集終了
【高校受験 中2】	募集終了(キャンセル待ち 2名)
【高校受験 中1】	募集停止中(キャンセル待ち 1名)
【中学受験 小6】	募集終了
【中学受験 小5】	募集終了(空きが出れば体験希望 1名)
【非受験 小学生】	若干名

学塾【URL】 <https://gakujiyuku.com> 【FACEBOOK】 <https://www.facebook.com/gakujiyuku>
【Instagram】 <https://www.instagram.com/gakujiyuku/>